学校番号	１００７

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡＩ」　（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱では斉唱、混声合唱に取り組みます。
・器楽ではギター、リコーダーの実技実習を中心に取り組みます。
　ギターでは基本的な音階や簡単な楽曲が数曲演奏できるよう課題に取り組みます。
　リコーダーはアルトリコーダーによる、独奏、アンサンブルの課題に取り組みます。
・評価にあたっては課題への取組み状況、ワークシート等の記入内容等も重視します。
　また、実技課題については音楽経験の有無に左右されないよう、形成的評価（現在のレベルから努力して上達した部分を評価する）で評価します。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとのかかわり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫をいかした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	高校音楽スタート！	歌うことの楽しさを感じ取る呼吸法，口形，共鳴など発声の基本を学習する ・校歌 ・愛唱歌　など	a：しっかりとした発声と、楽譜に書かれた情報を把握し表現する技能を身に付けている。 b：音程、リズム、テンポ、表情等を把握し、しっかりとした発声で、より楽しく歌唱する表現の工夫をしている c：校歌や愛唱歌の歌唱活動に関心を持ち、主体的・協働的にに歌唱の学習活動にとりくもうとしている	聴取 実技テスト	観察 聴取	観察
	リズムを感じて～クラッピングアンサンブル～	音楽を形作っている要素を知覚し、それらが生み出す雰囲気を感受しながら表現意図を持って演奏する。 ・クラッピングアンサンブル「クラッピングカルテットＮｏ１」	a：イメージをもって曲想を表現するために必要な技能を身に付けている。 ・手拍子の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら表現意図をもって演奏する工夫をしている。 c：手拍子の音色や奏法に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。	聴取 実技テスト ワークシート	観察 聴取	観察
	世界の諸民族の音楽	世界の民謡、郷土の音楽の旋律や、声、楽器の音色の特徴、それらの楽曲の文化的・歴史的背景に関心を持ち、音楽に対する理解を深める。	a:世界の音楽における声、楽器の音色の特徴や表現上の効果、その文化的・歴史的背景について理解している。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、世界の歌、楽器の音色の特徴や表現上の効果とのかかわりを感じ取って、その文化的・歴史的背景を踏まえて音楽の価値を考え、よさや美しさを主体的に味わい、聴いている c：世界の音楽における声、楽器の音色の特徴や表現上の効果、その文化的・歴史的背景に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	観察 ワークシート	観察

2	ギターに挑戦～基礎からはじめるギター～	ギターの音色や奏法に関心をもち，それらを生かして演奏する ・基本の音階 ・よろこびの歌 ・ちょうちょう ・テンリトルインディアン ・エーデルワイス	a:楽器の音色や奏法の特徴を生理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 b：音色やリズム、旋律などの音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c：ギターの音色や奏法に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。	聴取 実技テスト	観察 聴取	観察 ワークシート
	日本歌曲～歌詞と表現～	歌曲がもつ曲想を歌詞の内容や楽曲の背景などとかかわらせて、イメージをもって歌い、表現を工夫する。 ・椰子の実	a:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解し、イメージをもって曲想を表現するために必要な発声を含めた技能を身に付けている。 b:　音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:　曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動にとりくもうとしている	聴取 実技テスト	観察 聴取 ワークシート	観察
	第九を聴こう	楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、楽曲の文化的･歴史的背景を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深める。 ・ベートーヴェン 交響曲第９番	a：楽曲の文化的･歴史的背景や合唱を含む交響曲の音色や表現上の効果を理解している。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 c:主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	観察 ワークシート	観察

3	我が国の音楽 （鑑賞）	我が国の伝統的音楽の声や楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的･歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞する ・日本の楽器 ・様々なジャンルで活躍する日本の楽器	a:我が国の伝統的音楽の声や楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的･歴史的背景について理解している。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	観察 ワークシート	観察
	和太鼓に挑戦	我が国の伝統的楽器である和太鼓の音色の特徴や、楽器の文化的･歴史的背景に関心をもち響きや音色を味わいながら主体的に演奏する ・口唱歌 ・奏法の基礎 ・基本のリズム ・基本リズムを組み合わせてオリジナル曲を作ろう	a:楽器の音色や奏法の特徴を生理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 b：音色やリズム、などの音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c：和太鼓の音色や奏法に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 聴取	観察 聴取	観察
	合唱 ～ハーモニーを感じて～	合唱活動に興味をもち、歌詞の内容や曲想を生かして、声部の役割を理解し、全体の響きに調和させて表現を工夫して合唱をする ・混声３部合唱 「メッセージ」	a:創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能や、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。 b:　音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動にとりくもうとしている	聴取 実技テスト	観察 聴取	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度